

国際ロータリー会長

李 東建

地区ガバナー

馬場 信彦

北クラブ会長

石川 友意

幹事

米山キクエ

SAA

外山 裕一

三条北ロータリークラブ週報

例会日 2008. 9. 9 累計 No.1053 当年 No.10



例会日:火曜日 12:30 ~ 13:30

例会場:三条ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114

事務局:三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内

TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488

ホームページ:<http://www.sanjo-nrc.org>

メールアドレス:north@sanjo-nrc.org

本日の出席:68名中36名

先々週の出席率:

68名中50名73. 53%

(前年同期77. 94%)

先週のメークアップ:(敬称略)

9月3日三条RCへ 山上茂夫

4日三条東RCへ

今井克義

6日第4分区I・M(吉田)

阿部勝子、青柳康博

石川友意、大野新吉

岡田 健、柄沢憲司

小林繁男、駒形 実

斎藤 正、笹原壯玄

佐藤啓策、中條耕二

新田亜美、西村 護

早川瀧雄、馬場直次郎

淵岡 茂、本間建雄美

星野義男、山上茂夫

山崎 勲、山中 正

山本 賢、米山忠俊

米山キクエ

本日の行事:卓話

「願みて」

日のメニュー:合計669cal

イカオクラと海老のサラダ 77

牛モモ煮込み 268

豚バラと野菜のスープ 61

ライス 168

桃のゼリー 95

会長挨拶

石川 友意会長



先週9月6日(土)は、第4分区IMが吉田ロータリークラブのホストで盛大に開催されました。

当クラブからは33名の登録で、欠席の方も少しいらっしゃいましたが、お忙しい中多くの皆様からご出席を頂きました。本当にありがとうございました。

当日は、我クラブの中條パストガバナーがこのIMのゼネラルリーダーということで、「クラブの活性化」について基調講演を頂きました。その後各クラブ会長より、それぞれのクラブの活性化についての発表があり、中條リーダーより講評を頂き終了いたしました。IMは会員にロータリー情報を伝える大事な、年に一度の大会でございます。来年は我クラブがホストとして開催する訳ですが、その内容と取り組むテーマ、そしてその運営方法等々をよく検討して、充実した内容にして行かなければいけないと、今回出席してみてつくづく思いました。次年度IMを会員全員で力を合わせて成功させるべく何卒皆様のご協力をお願いいたします。

それから、本日岡田社会奉仕委員長が欠席のため、代わりに皆様をお願いしたいことがございます。来る10月10日は今年度社会奉仕事業の第一弾として、(株)ハーモニックさんと共催で、大谷徹英さんの講演会ががございます。当初、中学校(第二中学校と第三中学校)で午前・午後とそれぞれの開催だけでしたが、急きよ夜の部も社会福祉センターで行うこととなりました。つきましては、その為に会員の皆様からお手伝いいただく運びとなり、次週にその出欠表をまわしたいと思います。午後6時30分開演ですので、その前に会場準備やら駐車場整理等々ございますので、どうかよろしく願いいたします。あわせて、整理券の配布等の事柄も今後出てくるかと思われまますので、重ねてお願い申し上げます。

本日の行事は久しぶりに、青木会員の卓話です。楽しく拝聴させて頂きたいと思っております。

幹事報告

米山キクエ幹事

- ・三条市青少年健全育成ネットワークより わたしの主張新潟県大会の開催について
日時 平成20年9月23日(火) 13:00~16:00
会場 新潟ユニゾンプラザ
- ・良寛さまとあそぼ祭り実行委員会より 当日のご案内(チラシ受付に在ります)
日時 9月15日(月) 9:00~15:00
会場 八幡公園(越後三条良寛の道)
- ・三條機械スタジアム管理者より
欽ちゃん球団交流戦開催に伴うボランティア募集について
日時 2008年9月20日(土) 10:00より
会場 三條機械スタジアム
- ・にいがた緑の百年物語緑化推進委員会より 震災復興支援「緑の募金」ご寄付のお願い
- ・米山記念奨学会より 感謝状送付の件
マルチプル功労者 中條耕二会員(6回)
笹原壯玄会員(3回)
- ・青空福祉会より ともしび祭のご案内
日時 9月13日(土) 11:00~15:00
会場 ふれあいセンター青空
- ・坂井太一会員の社名が変更になりました。
新社名 株式会社ASMO(アスモ)



委員会報告

*親睦活動:次週16日は「お月見例会」です。大勢の皆さんの出席をお待ちします。

ニコニコBOX:9日現在累計206,000円

- 大野 新吉君 大陸の涼しい高気圧が日本を覆っていますが、残暑厳しさには変わりなく汗だくの毎日です。本日の卓話 青木さん大変ご苦勞様です。宜しく申し上げます。
- 石川 友意君 先週のIM、ご出席の皆さん大変ありがとうございました。
本日、卓話の青木会員ご苦勞様です。
- 阿部 勝子君 青木様、卓話宜しくお願ひ致します。
- 佐藤 義英君 青木さんの卓話に期待して!!
- 小林 繁男君 青木さん、卓話ごくろうさんです。楽しみにしております。
- 早川 瀧雄君 途中で早退します。青木さんの卓話、最後まできけないので残念です。
- 星野 義男君 青木省一さんの卓話に感謝して!!
- 高森 武志君 来週9/16は本年度3回目の夜例会(お月見例会)です。皆さんのご出席をおまちしております。
- 加藤 實君 青ちゃん卓話ご苦勞様です。
- 丸山 正男君 青木さん卓話ご苦勞様です。

西村 護君 青木さん 卓話無理にお願いしてすみません。楽しく聞かせて貰います。
笹原 壯玄君 青木会員の卓話、1回目休んだようで久しぶりに拝聴します！
青木 省一君 BOXに協力 丸山 達夫君 ノーコメント
今井 克義君 " 山崎 勲君 "
横田加代子君 " 落合 益夫君 BOXに協力

米山奨学BOX

米山 忠俊君 米山奨学事業に協力して。
山本 賢君 中條耕二君、笹原壯玄君 米山功労者マルチプルおめでとうございます。
これからも米山奨学会にお力をお貸してください。

本日の行事

「顧みて」青木 省一会員



プログラム委員長より依頼されましたが、何回となくお断りしておりましたが、西村プログラム委員長の顔が段々、切なそうに見え引き受けてしまいました。

私は先月 31 日で満 69 歳となり、古希を迎えた事になります。後の人生、何年か解りませんが自分の出来ることを世の中の為にやりたいと思っています。

私が鉄の世界に入りましたのが 18 歳です。

鉄一筋、51 年になります。

鉄の世界では商社も問屋も総じて鉄鋼人と呼ばれています。

就職して先輩に教えられたことは「鉄屋の商売が出来れば全ての商売が出来る」でした。

又「飲む」「打つ」「買う」三拍子揃わないと一人前ではない。と言われ大変面白い世界だなど思いました。鉄の世界は八丁堀で相場という商売が多かったようです。

3 年ほどでこちらに帰ってきました、長男ですので親の職業を継がなければと思いましたが父の職業は装蹄師という職業でした。これは大学を出て国家試験を受けて資格も取らなければならぬ今の獣医さんと同じ様な道を踏まないと成れないので私は止めました。

私の信条は 3 つあります。「正しい勇気」「正

しい判断」「正しい行動」で在りたいと思ってやって来ましたが 69 歳になっても未だにできない腹立たしさを感じています。

学校は金を払って教えて貰いますが、社会学校は金を貰って教えて貰える。いいもんだと思いつつながら独立する夢を持ちながらサラリーマンをやっていました。

世の中には肯定論と否定論がありますが、私は荘子の否定論、全てを否定し物を考えるという考え方をしてきました。人間は生きてはいけぬ、しかし人間は生きている。ならばどうして生きていけばいいのかと言う考え方です。

物が売れない。売れなければ、倒産してしまいます。ならばどうやって売るかと、考えてやって来ました。経理と営業を経験しました。数字の持つ大切さ、一件いくらの売り上げと見るのではなく、その数字の中身を見たとき数字全てが生きている。1 円 2 円の積み重ねが大きな数字になる。だから 1 円 2 円を大事にする。という事を教えられた。1 がすべて基本になる。一つでも掛けたら千にも万にもならない。世の中は数字が大きければ安いという考えですが、私は 1 を大事にしようと考えています。

43 歳の時、サラリーマンを辞め会社を作りました。その時多くの方にお世話になりました。

資本金750万、自分の持ち分として500万、あとは5人の株主のかたから50万ずつ持っていただきました。5人の方は50万という額ではなく、その方達の信用を貸して下さったと思っています。

今でも5人の方達の徳という物を頂いていると感謝申し上げています。

3年前に息子に社長の座を譲り、今は私は脇に逸れていく。それが道筋だと思っています。色々な方から徳を授けていただいた。できるなら私も徳を施すことは出来ませんが、積むことは出来ると思います。徳を積んでもかたちにはなりません、積んだ徳が平らに流れ

て、次の世代に廻ってかえって来るのではないかと思っています。

世の中、殺伐とし金が絶対的な物であるという風潮が強いですが、決してお金だけで物事が出来るわけではない。お金は手段であって基本的には人の情け、優しさが大切ではないかなと思い、私もそういう人間になりたいと思っています。

私は1対1の話しでしたら何時間も出来ますが大勢の人の前で話す事は不得意で下手です。意味のない話でしたがご容赦いただきこれで終わらせていただきます。ありがとうございました。

9/6 (土) 第4分区 I・M 於 吉田産業会館



24名の皆様
お疲れ様でした。

「和太鼓集団『北鼓隊』は北ロータリーの出身なのです！」

北ロータリークラブが10周年を迎えた際、周年行事を開催するにあたり、当時の会長の味方さんが、「会員による手作りのもてなしで、各ロータリアンをお迎えしよう」と提案なされ、計画が進んでいきました。

しかし、当初は順調には行きませんでした。まず、その太鼓の演奏者に誰になるのか？という一悶着を起し、結局はクジ引きによりメンバーが決められたのです。選ばれた人達も「えっ、なんで俺が太鼓をやらなきゃならないんだよ・・・」というような気持ちだったようです。初めは15～16人位のメンバーだったと思いますが、2～3回の練習後にはやめていく人もでてきました。その中で、早川・吉川・坂内・丸山・稲田・梨木・布川(故人)・本間建雄美・長谷川(東ロータリークラブ)・味方の諸氏と私馬場の11名が残り、週2～3回という猛練習に励みました。格好よく見せるためにと、衣装も調べたのですが、「昔の大工さんみたいな格好だね」とよく言われたものです。その後、メンバーの入れ替わりなどもありましたが、現在も休むことなく練習を積み重ね、いろいろと活動しております。

各地で行われるイベントへの参加やボランティアでの施設訪問など地域に根ざした地道な活動で、太鼓の演奏を披露し、多くの市民の皆さんに注目されるようになってきました。

ところで、和太鼓の歴史は長くて、古くは6世紀に造られた古墳の中からも太鼓を持った埴輪が発掘されたりしています。そして、中世(13～16世紀)には、物まね芸や歌舞を演じる芸能が寺院の庇護のもとに「能」として発達し、江戸時代には歌舞伎が庶民の間で大流行するのですが、その伴奏音楽としていろいろな太鼓が演奏されたのです。また、各地の祭礼などでも、大小さまざまな種類の太鼓が使われていました。

そして、近年、祭囃子を土台として各種の太鼓を組み合わせて演奏するグループが数多く生まれ(北鼓隊もその一つです!)、各地で熱心に演奏活動を行っております。

では、どうして太鼓がこれほど人々の共感を得ているのでしょうか？

「ドンドコドンドコ・・・」という太鼓の音は、人間の心臓の鼓動を表していると言われ、その音は耳で聴くものではなく体全体で感じるものだと言われます。そのため、メロディーを持った音楽とは違って経験や知識がなくとも、すーっと心の中に入ってくるのではないのでしょうか。たとえば、「この曲は素敵だな」と脳で判断する前に、直に心に響くのです。

ところで、初期のメンバーにも、それぞれのご都合や、故人となられた人もいたりして、現在も北鼓隊で活動しているのは、本間建雄美さんと私の二人になってしまいました。

いささか寂しい気持ちもしますが、その代わり新しいメンバーを迎えて、現在は女性5名男性8名の合計13名で前にも増して頑張っております。週に一回のペースで上林小学校の旧体育館で練習に励んでおります。

最後に、会員の皆さんの会社とか地域の催しとかに、演奏のご依頼がありましたら、喜んで馳せ参じますので、ぜひお誘いください。

馬場直次郎

9 / 2 米山奨学生タンヴィル君夫妻を招待し、日本文化の一面を紹介しました。

